

平成29年度 第1回 認知症疾患医療センター 地域連携協議会を開催いたしました。

2017.05.31

平成29年5月29日（月）午後6時より、当院本館6階特別会議室において、「平成29年度第1回東京医科大学病院認知症疾患医療センター地域連携協議会」を開催しました。当該協議会は、昨年9月に当院が「認知症疾患医療センター」として認可されたのを機に、医師会、地域包括支援センター、保健所などとの連携を緊密にし、地域における認知症診療の医療支援体制を構築していくことを目的に発足し、今回で6回目の開催となります。

当日は、「認知症疾患医療センター」の実績報告、現況報告に続き、藤平副センター長（MSW）より「認知症を背景とした高齢者虐待」について事例提示がされ、検討がなされました。難渋する事例に対し出席者からは活発な意見交換もあり、意義のある協議会となりました。

また新宿区医師会 日下生理理事より、高齢者相談センターで困った事例について新宿区医師会の先生が相談を受けていく「認知症サポート医」の概要について情報提供がなされました。当院は認知症疾患医療センターとして各高齢者相談医療センター並びに新宿区医師会と連絡を密にとり、よりよい連携体制を整えてまいります。

会議次第

- 挨拶
東京医科大学病院 地域連携型認知症疾患医療センター 副センター長
櫻井博文（高齢診療科 教授）
- 東京医科大学病院 地域連携型認知症疾患医療センター実績報告
- ミニレクチャーと事例
認知症を背景とした高齢者虐待について
・事例検討
- 関係機関との意見交換
・事前質問
・ミニレクチャーに対する感想や質問
・共有したいこと
・次回協議会内容についての要望 等
- 日下生新宿区医師会理事からの情報提供（認知症サポート医について）

以上

[東京医科大学病院 認知症疾患医療センター](#)



協議会全体風景